

# ゆうあい

あなたがいる、わたしがある。



APRIL 2024

4

vol.572

特集

ゆうあいの理念が新しくなりました



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)





### 役員紹介

理事	西本智津子	評議員	紀谷美香
理事	西谷裕幸	評議員	斉藤美雪
理事	堀浩介	評議員	佐々木若子
理事	木村幹雄	評議員	金沢京子
理事	竹下敏雄	評議員	石戸谷浩二
理事	大場靖子	評議員	島津彰
副理事長	祐川暢生	評議員	伊勢一彦
理事長	大場公孝	評議員	西川忠弘

### 学校法人ゆうあい学園

### 社会福祉法人侑愛会

### 施設長紹介

令和6年度もよろしくお願ひ申し上げます

 理事長 社会福祉法人侑愛会 学校法人ゆうあい学園 ゆうあい会診療所 所長 大場 公孝 Oba Masataka	 新生園 園長 折目 泰則 Orime Yasunori	 おしま菌床きのごセンター 園長 三山 美由紀 Miyama Miyuki
 副理事長 社会福祉法人侑愛会 学校法人ゆうあい学園 明生園 園長 祐川 暢生 Sukegawa Nobuo	 ワークショップまるやま荘 サポートかわつき 園長 紀谷 智彦 Kiya Tomohiko	 アシストほくと ルーチェ 所長 前田 典之 Maeda Noriyuki
 事務長 法人本部事務所 石戸谷 浩二 Ishidooya Koji	 侑ハウス 園長 高田 久嗣 Takada Hisatsugu	 あおいそら 所長 片山 智博 Katayama Tomohiro
 総合施設長 おしま学園 星が丘寮 園長 中野 伊知郎 Nakano Ichiro	 ねお・はろう 園長 上川 孝一 Kamikawa Koichi	 すてっぷ 所長 小笠原 一郎 Ogasawara Ichiro
 総合施設次長 クッキーハウス ワークセンターほくと サポートカーム 園長 小黒 康廣 Oguro Yasuhiro	 侑愛荘 園長 石村 正徳 Ishimura Masanori	 おひさま 園長 金沢 京子 Kanazawa Kyoko
 総合施設次長 函館青年寮 函館青年寮通所部 園長 小谷 高大 Kotani Takahiro	 サポートはまなす 所長 宮島 啓太 Miyajima Keita	 つくしんぼ学級 園長 坂田 貴宏 Sakata Takahiro
 総合施設次長 ばすてる 所長 小谷 素美子 Kotani Sumiko	 サポートすばる 所長 林 経夫 Hayashi Tsuneko	 浜分こども園 園長 佐々木 若子 Sasaki Wakako
 運営会議相談役 ゆうあい会石川診療所 所長 高橋 和俊 Takahashi Kazutoshi	 おしま屋 所長 細谷 武浩 Hosotani Takeniro	 七重浜こども園 園長 斉藤 美雪 Saito Miyuki
 ワークショップはこだて 園長 井出 尚久 Ide Naohisa	 ゆうあい幼稚園 園長 堀 浩介 Hori Kousuke	

## 2024(令和6)年度にむけて

社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
理事長 大場 公孝



2024年元日に能登半島地震が発生しました。震災で亡くなった方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。すでにゆうあいでは、支援物資や援助金の協力をさせていただきました。今後、人的派遣についても、行政、関連する団体と連携しながら進めていきます。4月からBCP(事業継続計画)が義務化されます。私たちがいつ災害に見舞われるか、予想ができません。BCPの周知と訓練によって、スムーズに発動できるように備えていきます。

人権擁護、虐待防止については、一昨年に続いて昨年の夏にゆうあい内で虐待事案が起きてしまいました。私たち全体の問題として受け止め、人権を守る努力に何が足りなかったのかを反省しなければなりません。この努力は、すべてに優先する取り組みです。

現在、どの入所施設でも入所者の重度化、高齢化への対応が課題となっています。2023年度には新生園重度棟増築を実現することができました。この環境を活かして高齢期支援が充実するものと期待しています。

では、以下に2024年度の取り組みを4点に絞ってお伝えします。

#### 【新しい理念、使命、姿勢】

2024年度のはじめに、私たちの新しい理念、使命、姿勢を示しました。そこでは、私たちの日々の業務、支援がインクルーシブな地域の実現に向けた努力であることを強調しています。包摂と訳されるインクルージョンという概念は、その意味の輪郭がまだ定まっていないと言えます。その意味を、私たち自身が当事者として、地域の方々とともに明確にしていければと願っています。

#### 【第5期5か年計画のスタート】

2024年度からゆうあい第5期5か年計画がはじまります。人口減少が進むなかで、地域共生社会の創出にどう私たちが寄与できるか。一昨年の障害者権利条約に関する対日審査総括所見で要請された障がいのある人の意思決定、居住支援の場の選択をどう支えるか。計画には、そうした取り組みを位置づけています。

4月からの報酬改定の内容からは、入所施設から地域生活への移行について、従来とは異なる国の意気込みが見てとれます。私たちの新しい理念や使命に照らして、一人ひとりの意思決定を尊重する観点から、重度、高齢の利用者を含めて地域移行に向けた取り組みを具体的に進めていく必要があります。そのために地域生活を支える資源の確保や創出が求められます。ゆうあいの力だけでなく、地域の資源間の連携や協力が不可欠です。

#### 【人材確保、育成と財務の健全化】

多くの業種が人材不足に悩んでいますが、福祉の領域では2025年には30万人以上、2040年で70万人弱の人手が足りなくなると予想されています。私たちの理念、使命は、それを担う人材がいなければ実現できません。人材確保のためにアイデアを集め、福祉の仕事のやり甲斐を積極的に発信していきたいと思えます。人材定着、育成には、ゆうあいの勤務モットーを改めて心がける必要があります。理念の実現に一人ひとりの職員が貢献意欲を持てるかどうかのカギは、「明るいチームワーク」、「あたたかい人間関係」にあります。

#### 【法人の体制について】

さいごに、2023年度末をもって大場靖子常務理事が退任します。また、新たに副理事長に祐川暢生総合施設長が着任し、中野伊知郎総合施設次長が総合施設長になります。ゆうあい全体の運営を担う新しい体制のもとで第5期5か年計画を着実に進めて参りますので、2024年度も皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 私たちの使命 MISSION

# あなたの声に耳をかたむけ あなたの想いにこたえる



法人理念を実現させていくために私たちに求められる使命があります。  
ここで言う「あなた」とは、私たち自身を含むたずさわるすべての方々のことを指しています。  
「あなたの声に耳をかたむけ」とは、利用する方から学ぶことであり、  
「あなたの想いにこたえる」とは、一人ひとりが必要としているサポートを考え、実行することです。

## 私たちの姿勢 ATTITUDE

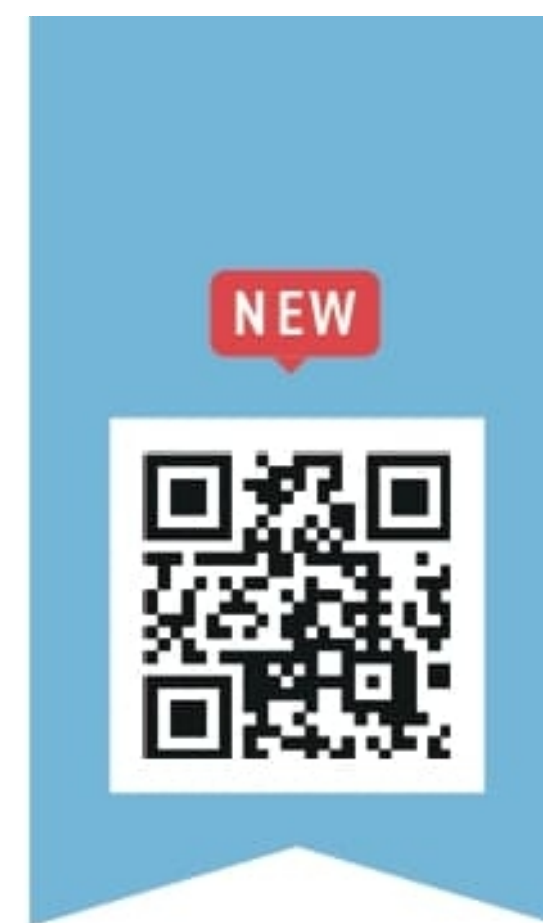
# 「聴く」「学ぶ」「創る」「繋ぐ」



姿勢とは、使命を果たすための具体的な行動です。

「聴く」とは、想いを聴くこと。ニーズを知ること。人の意思を尊重すること。  
「学ぶ」とは、知識を増やすだけでなく、根拠にもとづく実践を内外に発信すること。いつでも省み、みずからを変える勇気をもつこと。  
「創る」とは、柔軟な発想で仕組みを創ること。途切れることなく新たな人材を育成すること。  
「繋ぐ」とは、地域の人たちとのネットワークを構築すること。未来が豊かになるよう常に先を見据えること。

私たちは、毎日の多岐にわたる業務ひとつひとつに、この4つの姿勢をもって臨んでいきます。  
それらの積み重ねこそが「使命」を果たすことになり、「理念」の実現に繋がっていくのです。



## ゆうあいの理念が新しくなりました

新しい年度を迎えるにあたって、「理念」が新しくなりました。また、理念を実現していくために求められる「使命」を明らかにし、その使命を果たすための「姿勢」も示されました。ロゴマークも、多様性などを表現する特別仕様のデザインを施して期間限定で使用予定です(表紙下)。さらに詳しく知りたい方は、こちらのQRコードのURLからご覧下さい。

## 私たちの理念 PHILOSOPHY

# あなたが安心して 豊かに暮らせる社会を創る

## インクルーシブなわたしたちの街を実現する



2024年、私たちは新しい理念のもと、これからの時代を切り拓いていきます。  
私たちは、「ゆうあい」を利用される方から学び、一人ひとりが必要とするサポートの実践をとおして、だれもが安心して豊かに暮らせる社会の実現をめざします。

私たちの街では、こども、若者、おとな、高齢の方、LGBTQ+の方、さまざまな人種の方、知的発達に違いがある方、自閉症の方、身体に違いがある方、難病を抱えている方など、それぞれに違いがあって、ひとりとして決して同じではない暮らしを営んでいます。まさに多様な人々がこの街でいまを生きています。

インクルーシブとは、包み込まれた状態を意味します。それぞれの違いを理由に、社会参画する機会を妨げられたり、不当な差別を受けたりする。それは、インクルーシブではありません。多様な一人ひとりがかけがえのない存在として認められ、さまざまな機会を共有する。そのときに、ほんの少しだけ、必要なサポートを受け合う関係がある。それがインクルーシブな状態なのだと考えます。  
利用される方々を私たちだけで支えるのではなく、この街の人や社会資源を巻き込んで優しい社会のあり方を醸成させていく視点をもたなければなりません。つまり、私たちは利用される方々を支え、地域社会を支え、そして逆に、利用される方々や地域から支えられる仕組みを創りだしていきます。

私たちの理念は、もしかすると世界中のだれも、未だ見たことのない社会を示しているのかもしれない。そんな社会を、街を実現する。それが、私たちの理念です。

LGBTQ+  
L:レズビアン G:ゲイ B:バイセクシャル T:トランスジェンダー Q:クエスチョニング +:その他の性自認

多様な  
多様性(ダイバーシティ)と言われます。さまざまな違いを持った方々が同じ地域や空間に存在することを指します。現在は、多様性については多くの人が認識する世の中になってきていますが、認識するだけでは、インクルーシブな状態とはなりません。

インクルーシブ  
インクルーシブ:インクルージョン(名詞形)。インクルーシブ(形容詞)。社会的包摂と訳され、社会的に全ての人を包み込み、誰も排除されることなく、全員が社会に参画する機会を持つことを意味します。ソーシャルインクルージョンによって高齢者や障がい者、外国人や失業者など、社会的に弱いすべての立場の人が「社会の一員として包み支え合うことが目指されます。

不当な差別  
不当な差別の中には、届け出上の性差、すなわち男女の違いだけの理由で役職や給与、採用要件などに格差が生じるなどの社会問題が根強く残っています。





社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)